

新春特別経済セミナー

会員及び関係各位 <仙台アセットマネジメント研究会・第188回例会>

「仙台アセットマネジメント研究会・第188回例会」

新型コロナウイルス対策のため、参加者はマスク着用・アルコール消毒・座席指定で実施します。

尚、本セミナー講演内容を撮影後、動画(YouTube)にて配信する予定です。

動画視聴希望の方は、「パスワード」を発行しますので「動画視聴」参加で申し込んで下さい。

日時： 2022年1月28日(金) 14:30～17:00 受付14:00～

会場： せんだいメディアテーク 7階スタジオシアター 青葉区春日町2-1 ☎713-3171

参加費： 無料 会場定員： 90名 / 動画視聴： 50名

テーマ：経済とお金の点検

日本銀行の『経済・物価情勢の展望』(2021年10月)によると、わが国の景気は、内外における新型コロナウイルスの影響から引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直しています。対面サービスなど経済活動が物理的に制限されるコロナ禍の景気後退では、現金給付など通常の対策でどんなにアクセルを踏み込んでも景気が前に進まない「空吹かし」状態を余儀なくされます。しかし、感染が収束に向かい経済活動が正常化すれば効果が一気に現れるため、成長率やインフレ率が急速に上振れることとなります。それが顕著に表れ、株価が大幅に上昇し、金融政策のかじ取りが難しくなっているのが今のアメリカです。果たして日本はどうでしょうか。

東北地方及び宮城県の景気動向については、震災復興需要の反動や、新型コロナウイルスに伴う経済活動の制約があるものの全体としては緩やかに持ち直しています。

今回は、コロナ禍における日本経済の動向について日本銀行出身のエコノミストと宮城県の経済の動きについて地元のシンクタンクに解説していただきます。

■第1部 コロナ禍における日米経済と金融政策のポイント

講師：いちよし証券株式会社 上席執行役員チーフエコノミスト 愛宕 伸康氏

■第2部 緩やかに持ち直している宮城県経済の動きについて

講師：七十七リサーチ&コンサルティング株式会社

経済調査グループ 首席エコノミスト 田口 庸友氏

申込書

1月21日(金)までに必ず出欠のご連絡を下さい——事務局 FAX. 022-374-4569

【例会】	参加	【動画視聴】	参加
会社名		部署・役職	氏名
住所		TEL	FAX

【主催】アセットブレインズ仙台ネットワーク 「仙台アセットマネジメント研究会」

事務局 仙台市泉区上谷刈1-7-35 電話 022-773-6685 FAX 022-374-4569 事務局長 佐々木正之

ホームページ <http://www.asset-b.net> メール asset-b@ac.auone-net.jp

本状は当会のセミナー等にご参加いただいた皆様及び当会スタッフと名刺交換いただいた皆様に送付しています